

まちの話題

2/10 木育キャラバン in 智頭町

幼い頃から木に触れ、親しみを持ってもらうことを目的に、全国から木のおもちゃを集めた「木育キャラバン」(移動型東京おもちゃ美術館)を開催しました。

当日、総合センターには約200種類の木のおもちゃが並び、町内外から訪れた174人が木の感触やめくもりを確かめながら遊びました。ワークショップコーナーでは、智頭杉を削る箸づくり体験や木のカケラをすくうゲームなどがあり、保護者も一緒に楽しんでいました。

本町は平成29年3月3日に、鳥取県で初めて「ウッズスタート宣言」をしました。このまちで暮らす子どもたちに、将来にわたり森林の大切さや森への親しみを感じてもらうとともに、ふるさとを大切に想い、誇りに感じる心を養ってほしいと願っています。



贈呈式に参加した8家庭の皆さん

ウッズスタート！

木のおもちゃ贈呈式

本町では、町内に住む家庭の赤ちゃん誕生記念に、智頭杉を使った木のおもちゃを贈呈しています。

今年度の対象者は令和4年1月1日～12月31日までに生まれたお子さん16人です。

保護者代表の山口裕未さんは、「ちょうどおもちゃに興味を持ち始めた。木の感触になじんであったかい優しい子に育ててほしい」と話しました。